

証券コード：9179

K

"K" LINE KINKAI

株主通信 vol.8 2012年 9月



TROPICAL VENUS

川崎近海汽船株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

第47期第2四半期の営業概況ならびに事業内容をご理解いただくために、株主通信をお届けいたします。

当第2四半期連結累計期間（2012年4月1日から2012年9月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧・復興需要等を背景に回復基調となりましたが、欧州の金融不安及びエネルギー供給問題等で景気の先行きは不透明な状況にありました。

そのため、海運業界を取り巻く環境は、円高の定着と世界経済の減速にともなう市況の低迷が継続しており厳しい経営環境となりました。

このような状況下、当社の第2四半期連結累計期間の売上高は213億61百万円となり前年同期比1.0%の増収となりました。営業利益は9億53百万円となり前年同期比34.1%の増益、経常利益は8億52百万円となり前年同期比41.8%の増益となりました。特別利益を5億48百万円、特別損失を78百万円計上した結果、四半期純利益は7億84百万円となり前年同期比75.2%の増益となりました。

中間（第2四半期末）配当につきましては、1株当たり4円とさせていただくことになりました。なお、期末配当につきましても1株当たり4円を予定しており、年間配当は1株当たり8円となる予定です。

海運業界を取り巻く環境は、依然先行き不透明な状態におかれています。各部門にわたって一層の業績向上を目指す所存です。

株主の皆様におかれましても、引き続き変わりにご支援を賜りますようお願い申しあげます。

代表取締役社長

石井繁礼



CONTENTS

- | | | | |
|---------------|---|----------|-----|
| ▶ 株主の皆様へ | 1 | ▶ トピックス | 7 |
| ▶ 財務ハイライト | 2 | ▶ 連結財務諸表 | 8 |
| ▶ 部門別営業概況 | 3 | ▶ 株式の状況 | 9 |
| ▶ 船舶紹介 | 4 | ▶ 会社概要 | 10 |
| ▶ 拠点紹介 シンガポール | 5 | ▶ 株主メモ | 裏表紙 |

財務ハイライト

当第2四半期の業績結果

■ 連結業績

売上高	213億61百万円 (前同期比 + 1.0%)
営業利益	9億53百万円 (前同期比 +34.1%)
経常利益	8億52百万円 (前同期比 +41.8%)
純利益	7億84百万円 (前同期比 +75.2%)

■ 連結財政状態

総資産	425億39百万円
純資産	214億77百万円

■ 連結キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フロー	28億99百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51億50百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	28億80百万円

■ 中間 (第2四半期末) 配当金

1株当たり4円 (前期比+0.5円)

通期の業績予想

■ 連結業績

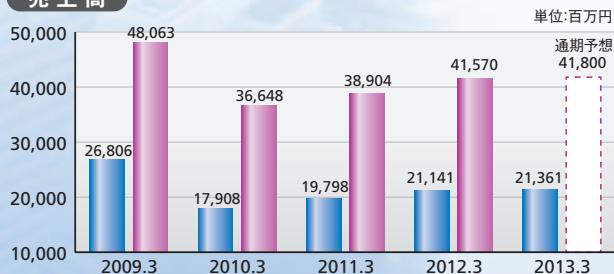
売上高	418.0億円
営業利益	16.5億円
経常利益	15.0億円
当期純利益	10.0億円

(下期の想定円ドル為替レート 1ドル=80円)

■ 年間配当金

1株当たり8円 (中間 (第2四半期末) 4円・期末4円) を予定

売上高



経常利益



営業利益



純利益



部門別営業概況

近海部門 売上高

76 億 24 百万円

バルク輸送

東日本大震災以降、原子力発電所停止の影響により石炭の輸送量が堅調に推移しました。

木材輸送

震災後の復興需要により合板の輸送量が増加しましたが、国内景気の低迷により製紙メーカー向けチップの引取り量は大幅に減少しました。

鋼材輸送

タイ向け自動車用鋼板の輸送量が回復基調にあるものの鋼材全体としては前年同期に比べて減少しました。

近海船市況の低迷により、当部門の売上高は76億24百万円となり前年同期に比べて6.0%の減収となりました。また、営業損失は前年同期26百万円に対し、当第2四半期は4億77百万円となりました。

内航部門 売上高

136 億 98 百万円

不定期船輸送

石灰石、石炭の各専用船は概ね安定した輸送量を確保しましたが、小型貨物船では荷動きの低迷から稼働が上がりず輸送量が伸び悩みました。

定期船輸送

苫小牧―常陸那珂航路では船腹入れ替え効果により前年を上回る輸送量を達成し、釧路―日立航路においても一般雑貨の輸送量が増加しました。

フェリー輸送

八戸―苫小牧のフェリー輸送では本年4月に就航した最新鋭船「シルバープリンセス」の輸送力増強とダイヤ改定の効果によりトラック、乗用車、旅客とも輸送量が増加しました。

当部門の売上高は136億98百万円となり前年同期に比べて5.4%の増収となりました。また、営業利益は14億20百万円となり前年同期に比べて98.7%の増益となりました。

部門別構成比(%)

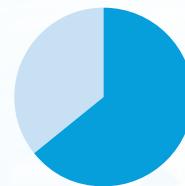
近海部門

35.7%



内航部門

64.1%



その他事業部門

当事業の主なものとしては、北海道地区における不動産賃貸業などがありますが、当部門の売上高は38百万円となり前年同期に比べて2.8%の減収となりました。また、営業利益は10百万円となり前年同期に比べて53.4%の減益となりました。

船舶紹介

近海部門

バルク輸送

ロシア、ベトナム、インドネシア、豪州から石炭、タイから石膏や砂糖を日本、韓国、中国向けに輸送しています。

写真：CHIKUSA



木材輸送

マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン等から日本向けに南洋材、インドネシア、中国、マレーシアから日本向けにチップを輸送しています。

写真：MARINE EMERALD



鋼材輸送

日本からタイ、香港、シンガポール、マレーシア等を中心に東南アジアに向けて鋼材、機械、プラント等を輸送しています。

計 **31** 隻

内航部門

不定期船輸送

鉄鋼副原料やセメント原料となる石灰石、電力（火力発電）用石炭のほか、鋼材、コークス、スラグ、スクラップなど多様な物資を日本各地に輸送しています。

写真：JP TSUBAKI

10 隻



定期船輸送

生乳、紙製品、農水産品、一般雑貨など、スピーディで高品質な海上輸送を提供し、北海道から九州間を北関東を中継して一貫輸送することも可能です。

写真：第二ほくれん丸

8 隻



フェリー輸送

八戸から苫小牧間を毎日4便運航し、本州と北海道を最短ルートで結ぶ重要基幹航路として地域産業の発展に大きく貢献しています。

写真：シルバープリンセス

4 隻



拠点紹介 シンガポール

シンガポールから東南アジアの経済活動を察知、 外航営業を強力にバックアップ！

～東南アジアと日本を結ぶ国際物流の架け橋として～

当社は近海部門の東南アジア拠点として1986年（昭和61年）11月にシンガポール駐在員事務所を開設しました。船舶の売買、傭船、貸船等の業務を行っていましたが、1988年（昭和63年）12月に同事務所を廃止し、船舶の売買、傭船、貸船、船舶の修繕改造等に関する業務および三国間貨物の集荷等を拡大強化するために、同月に現地法人Cross Trade Shipping Pte., Ltdを設立いたしました。駐在員は同地域における情報収集、定期船の入港の際の監督ならびに集荷業務を行い、1998年（平成10年）4月には“K”Line Kinkai (Singapore) Pte., Ltdと社名を変更し現在に至っております。

シンガポールでの業務は日本から輸送されてくる鋼材や雑貨等のフローアップや東マレーシア、インドネシアから輸出される木材製品の集荷業務、船舶のチャーターリング、貨物の引合い、シンガポール国内でのトラック輸送など多岐にわたります。

2008年（平成20年）の世界金融危機、円高の影響を受け、日系企業の多くは人件費の安い東南アジアへの進出を加速させています。また、人口増加が著しいインドを含む東南アジアの環境は、今後も更なる様々な需要が見込まれています。このような環境下において、当地における三国間のマーケティングの重要性は年々増し、今後は海洋都市国家としてのメリットを生かしながら、集荷、傭船、オペレーションと展開してまいります。



日本から運んできた鋼材を
シンガポールで揚げるSHINKEN ACE



シンガポールで荷役中のMARINE DIAMOND

“K”Line Kinkai (Singapore) Pte., Ltd

住所 10 Anson Road
#12-04 International Plaza
Singapore 079903

TEL (65) 6227 9308 FAX (65) 6228 9218



トピックス



新造船“やまさくら”のご紹介

TOPICS

2012年（平成24年）9月19日に新造船“やまさくら”が大分県佐伯市の株式会社三浦造船所にて命名、進水いたしました。

本船は、東京電力株式会社広野火力発電所向けの石炭専用船であり、セルフローダー・セルフアンローダー搭載（SUL船）により、荷役を完全に自動化した環境に優しい最新鋭船です。2013年（平成25年）2月の就航後は、中継基地である小名浜港と広野港間にて広野火力発電所6号機（出力60万キロワット）の燃料となる海外炭を2日1ラウンドでピストン輸送し、年間120万トンの安定供給を行います。船名の“やまさくら”は、ホームグラウンドとなる福島県広野町の町木から命名されました。

昨年3月に発生した東日本大震災以降、電力供給の中心である火力発電所への石炭輸送を今後15年の長期にわたって担う本船は、当社3隻目の石炭SUL船として、大きな活躍が期待されています。

船舶概要

●主要貨物	石炭
●総トン数	約18,600t
●載貨重量	約14,999t
●石炭積載容積	約18,230㎡
●主要寸法	全長 150.00m
	垂線間長さ 146.00m
	幅（型） 27.20m
	深さ（型） 14.20m
	満載喫水（型） 6.486m
●試運転最大速度	約13.5ノット
●最大搭載人員	13名

“やまさくら”の航路



連結財務諸表

▼第2四半期連結貸借対照表 (要約)

(単位:千円)

資産の部	当第2四半期末 2012年9月30日現在	前期末 2012年3月31日現在
流動資産	11,289,398	10,586,644
固定資産	31,250,286	28,040,814
有形固定資産	30,016,626	26,703,309
無形固定資産	81,682	95,562
投資その他の資産	1,151,977	1,241,942
資産合計	42,539,685	38,627,458

負債の部	当第2四半期末 2012年9月30日現在	前期末 2012年3月31日現在
流動負債	10,029,371	9,428,916
固定負債	11,032,995	8,369,517
負債合計	21,062,367	17,798,433

純資産の部	当第2四半期末 2012年9月30日現在	前期末 2012年3月31日現在
株主資本	22,055,957	21,374,313
資本金	2,368,650	2,368,650
資本剰余金	1,248,849	1,248,849
利益剰余金	18,465,922	17,784,278
自己株式	△27,464	△27,464
その他の包括利益累計額	△578,639	△545,288
その他有価証券評価差額金	19,048	55,507
繰延ヘッジ損益	—	△1,316
土地再評価差額金	△588,700	△588,700
為替換算調整勘定	△8,987	△10,777
純資産合計	21,477,318	20,829,025
負債純資産合計	42,539,685	38,627,458

▼第2四半期連結損益計算書 (要約)

(単位:千円)

	当第2四半期 累計期間 自 2012年4月 1日 至 2012年9月30日	前第2四半期 累計期間 自 2011年4月 1日 至 2011年9月30日
売上高	21,361,797	21,141,614
売上原価	18,576,506	18,631,138
売上総利益	2,785,291	2,510,475
販売費及び一般管理費	1,831,554	1,799,160
営業利益	953,736	711,315
営業外収益	33,251	31,139
営業外費用	134,149	141,141
経常利益	852,837	601,314
特別利益	548,792	352,700
特別損失	78,754	234,999
税金等調整前四半期純利益	1,322,875	719,014
法人税等	674,669	137,054
法人税等調整額	△136,195	134,172
四半期純利益	784,402	447,787

▼第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位:千円)

	当第2四半期 累計期間 自 2012年4月 1日 至 2012年9月30日	前第2四半期 累計期間 自 2011年4月 1日 至 2011年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,899,602	474,206
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,150,200	△2,938,714
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,880,105	△103,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,028	△25,259
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	627,479	△2,593,151
現金及び現金同等物の期首残高	3,192,274	6,339,692
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,819,754	3,746,541

記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (2012年9月30日現在)

- 会社が発行する株式の総数 97,300,000 株
- 発行済株式の総数 29,525,000 株
- 株 主 数 2,522 名 (前期末比 32 名増)

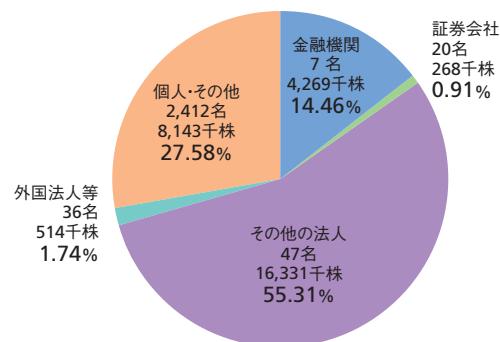
■ 大 株 主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
川崎汽船株式会社	14,040	47.55%
東京海上日動火災保険株式会社	1,840	6.23%
株式会社損害保険ジャパン	1,080	3.66%
三井住友海上火災保険株式会社	855	2.90%
川崎近海汽船従業員持株会	510	1.73%
北海運輸株式会社	350	1.19%
日本トラस्टィ・サービス信託銀行株式会社	343	1.16%
株式会社栗林商会	304	1.03%
株式会社ダイトコーポレーション	278	0.94%
株式会社リンコーポレーション	150	0.51%
日東物流株式会社	150	0.51%

■ 株価及び株式売買高の推移



■ 株式の所有者別状況



表紙の船

The Ship on the Cover

“TROPICAL VENUS”

本船は、2009年（平成21年）2月に株式会社カナサシ重工にて建造されました。

外航定期航路に従事し、日本からは鋼材・雑貨を香港・タイ・シンガポール・マレーシア向けに、東南アジアからは日本向けのボード用木材チップを輸送しています。

鋼材輸送に適したセミボックス・シェイプ型であることに加え、木材チップ輸送をいかに効率的に輸送するかを追求し、同型船の比較において船倉容積を大きくしているのが特徴です。



船舶概要

総トン数 9,593t 航海速度 13.0ノット
全 長 119.99m 積載重量トン数 12,215t

会社概要 (2012年9月30日現在)

社名	川崎近海汽船株式会社 KAWASAKI KINKAI KISEN KAISHA,LTD.	役員	代表取締役会長 森原 明 代表取締役社長 石井 繁礼 常務取締役 木村 孝史 常務取締役 上杉 芳人 常務取締役 赤沼 宏 取締役 高田 雅彦 取締役 高木 久裕 取締役 友井 彰彦 取締役 杉本 利文 取締役 寅谷 剛 監査役 島村 康雄 監査役(非常勤) 堤 則夫 監査役(非常勤) 生和 勉 監査役(非常勤) 鈴木 修一
設立	1966年(昭和41年)5月1日		
本社	東京都千代田区霞が関一丁目4番2号		
資本金	23億6,865万円		
代表者	代表取締役社長 石井 繁礼		
従業員数	387名		
主な事業内容	海上運送事業 海運仲立業 港湾運送事業および倉庫業 貨物運送取扱事業 海運代理店業		

運航船舶

※ 他社との共有船

	船名	船種	総トン数	重量トン数(k/t)	主要馬力	航海速度	建造年月	就航状況
社船・共有船	ほくれん丸	RORO	13,950	6,597	D-24,256	23.5	2006年6月	内航定期船
	第二ほくれん丸	RORO	13,950	6,597	D-24,256	23.5	2006年7月	内航定期船
	神川丸	RORO	13,018	6,387	D-21,618	22.0	2002年9月	内航定期船
	ほっかいどう丸	RORO	12,526	5,937	D-32,400×2	20.0	1999年9月	内航定期船
	勇王丸*	RORO	9,348	5,335	D-17,185	20.7	2001年6月	内航定期船
	シルバープリンセス	フェリー	10,536	4,315	D-9,789×2	20.5	2012年4月	フェリー
	シルバークイーン	フェリー	7,005	3,455	D-12,000×2	20.7	1998年3月	フェリー
	美津川丸	石灰石専用	3,497	5,800	D-3,350	12.5	2007年10月	内航不定期船
	JP TSUBAKI*	石炭専用	7,287	6,600	D-4,420	12.0	2008年11月	内航不定期船
	JP COSMOS*	石炭専用	7,288	6,600	D-4,420	12.0	2008年2月	内航不定期船
	須寿川丸	ブッシャーバージ	94	3,918	D-2,400	9.8	1992年7月	内航不定期船
川洋丸	一般貨物	3,576	6,097	D-3,300	12.5	1990年6月	内航不定期船	
社船・共有船計		12隻	102,075	67,638				
定期備船		41隻	341,803	474,627				
運航船舶合計		53隻	443,878	542,265				

川崎近海汽船株式會社

東京都千代田区霞が関一丁目4番2号 (〒100-0013)

TEL:03-3592-5800 FAX:03-3592-5911

当社IRサイトをご活用ください。

当社ホームページでは、プレスリリースや決算情報等を掲載しております。ぜひご活用ください。

<http://www.kawakin.co.jp/ir/index.html>

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 同上総会権利行使株主確定日 3月31日
- 配当金受領株主確定日 3月31日
- 中間(第2四半期末)配当受領株主確定日 9月30日
- 基準日 上記確定日のほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 郵送物送付先(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
- 公告方法 電子公告により行います。公告掲載URL (<http://www.kawakin.co.jp/>)
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 配当金計算書について 配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は大切に保管願います。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。



古紙配合率70%再生紙を使用しています